

平成31年度 全国学力・学習状況調査及び県調査の武雄市結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっているように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には、学校と家庭や地域との連携が必要です。今回学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は小学校6年生、中学校3年生は全国学習状況調査、その他は佐賀県学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、今年度から国語、算数(数学)共にこれまでのA問題、B問題の区別なく「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題調査となりました。また、今年度は、中学3年生において、3年に1度の英語の「話すこと」調査も実施されました。

各学校のホームページには、学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語			数学			英語
	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時	3年時
H31入学 現1年	72.0 (1.00)			67.8 (1.01)			
H30入学 現2年	65.6 (0.94)	63.3 (1.02)		62.2 (0.93)	54.4 (0.93)		
H29入学 現3年	70.8 (1.03)	64.8 (1.10)	74 (1.04)	72.4 (1.06)	55.1 (1.02)	64 (1.12)	53 (1.04)
H31 正答率の全国比			(1.02)			(1.07)	(0.95)

◎1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。 ◎「H31 正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

【国語】

- ・「読むこと」に課題が見られる。文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことができていない。
- ・文章の内容の読み取り、問題文で何が問われているか、どのように考えればよいかを理解できていない。
- ・語彙の質と量の差が大きい。

【数学】

- ・「資料の活用」について、最頻値を読み取ることや判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていない。
- ・規則性について考える設問、文章を読み取って数量の関係について文字を用いた式で表す設問、数学の用語の意味の理解を問う設問に課題が見られる。
- ・「文字を扱うことへの抵抗」や「割合についての意味の理解」の壁をどう乗り越えさせるかが大きな課題である。

【英語】

- ・「読むこと」に課題が見られる。まとまりのある文章を読んで、必要な情報を読み取ることができていない。
- ・「書くこと」に関しては、文法的な内容は理解しているものの、肯定文を正確に書いたり、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文を書いたりすることができていない。
- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができていない。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

【国語】

- ・テストの後に振り返る時間を確保し、問題となる文章や問題文のどこをどのように読むのかの指導を継続して行う。

・表現技法などの基礎的な知識をまとめたワークシートをファイリングするなどして、いつも参照することができるようにする。

- ・社会生活の出来事や事象について、関心をもつことができるような学習課題の設定を行う。
- ・語彙指導について、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句の意味や使い方に関する認識を深めることができるような教材を用いて、協働学習により主体的に考えさせる時間を設定する。

【数学】

- ・数学的な表現を用いて、解決方法を説明したり判断の理由を説明したりすることができるように、式から読み取ったことや事柄が成り立つ理由などを記述したり、他者に説明したりする活動を取り入れる。
- ・捉えた数量を線分図などに表し、必要な数量を書き入れてその関係について理解しやすくなるような指導の徹底を図る。
- ・課題を解決する時間や学習の実態など個に応じて記入することができるようなワークシートの工夫を行う。
- ・基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、これまで学習した内容を活用して解決することができるような課題を意図的・計画的に設定する。

【英語】

- ・短文から長文へと語数を増やしながら、英文を読む活動を継続的に行う。
- ・マッピング活動やパターン活動などを通して、段階を踏みながら書く活動の充実を図る。
- ・本文に書かれている内容に関する自分の意見や感想を、ペアやグループで意見交換することができるような場の設定を行う。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・校内研究で進めている学習課題の設定の工夫や学習規律について、共通理解、共通実践を図る。
- ・聞く姿勢や聞き方などの聞くことの指導の徹底を図る。